

4 基本目標(目指すべき将来像)

「ともにみらいにつなぐ やさしさといこいの西東京」という基本理念をかなえるために、めざすまちの姿として、6つの基本目標(目指すべき将来像)を掲げます。また、予測を超えた社会経済情勢の変化等に対し、柔軟に対応するために必要な「基本目標実現のための体制づくり」を示します。

基本目標 1 協働・行政

みんなで作るまち

多様化・複雑化する地域課題に取り組み、安心して暮らせるまちを創るためには、行政だけでなく、子ども・若者から高齢者までの多様な世代の市民や市民活動団体、事業者等のさまざまな主体が協力し、一人ひとりが互いに認め合い、自分らしく活躍することができる市民主体のまちづくりを進めていくことが大切です。

行政は、限られた行政資源(人員・財源等)の中で、行政サービスの維持・向上を図るために、行財政改革や社会の変化に柔軟に対応できる組織づくりを推進し、持続可能で自立的な自治体経営を確立することが大切です。

そのため、公共施設の再編等による人々が集える空間の創出やデジタル技術の活用による行政サービスの向上などを進めるとともに、さまざまな主体が積極的にまちづくりに参加できる機会の充実や、他者を尊重する意識の醸成などに取り組み、ともに地域を創る「みんなで作るまち」をめざします。

基本目標 2 子ども・教育

子どもが健やかに育つまち

次世代を担う子ども一人ひとりが輝き、健やかに成長していくためには、個性が尊重され、社会の変化に応じた生きる力を身につけることができる環境づくりが大切です。

また、安心して子どもを産み育てることができ、だれ一人取り残さない社会を創るためには、家庭の状況に応じた伴走型の支援、困難を抱える子どもを早期に発見する仕組み、地域全体で子育て家庭を見守る体制づくりが必要です。

そのため、子どもの権利の尊重や居場所づくり、気軽に相談できる場の充実、子どもの発達段階等に応じた妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の構築のほか、児童・生徒の個に応じた学校教育の充実等を図ることで、愛着を持っていつまでも住み続けたいと思える「子どもが健やかに育つまち」をめざします。

基本目標 3 健康・福祉

笑顔で自分らしく暮らせるまち

だれもが住み慣れた地域で健康で元気に暮らすためには、年齢や障害の有無等にかかわらず、一人ひとりが生きがいを感じながら、自分らしくいきいきと暮らすことが大切です。また、だれもが「支え手」にも「受け手」にもなり得ることから、子ども・若者から高齢者までの多様な世代が地域の中でつながり、それぞれが抱える多様な生活課題の解決に向けて取り組むことが重要です。

そのため、すべての人が「支え手」「受け手」という関係性を超えて、地域の中で人と人、人と資源が世代や分野を超えて支え合い、支援の必要な人が適切な支援を安心して受けられるための仕組みづくりを進めるとともに、健康づくりや生きがいづくりに取り組み、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して「笑顔で自分らしく暮らせるまち」をめざします。

基本目標 4 みどり・環境

環境にやさしい持続可能なまち

本市には、農地、雑木林、屋敷林など、みどりを身近に感じることでできる武蔵野の面影が残っており、みどりと都市が共存する住環境は魅力の一つです。

これらのみどりは、暑さをやわらげ、暮らしに安らぎを与えるとともに、自然環境が有する多面的な機能を持つグリーンインフラとして活用することで、地球温暖化の緩和や浸水対策、生き物の生息・生育空間の提供などが期待できます。

また、環境問題の深刻化に伴って地球温暖化を起因とする気象災害が発生していることから、一人ひとりが地球規模の環境問題に向き合い、省エネルギーに取り組むなど、環境に配慮した行動が大切です。

そのため、さまざまな主体が協働してみどりの保全・活用に取り組みるとともに、次世代により良い環境を残していけるよう、環境への負荷が少ない脱炭素社会や資源循環型社会の実現に向けた「環境にやさしい持続可能なまち」をめざします。

基本目標 5 都市基盤・安全

安全で安心して快適に暮らせるまち

都市と自然環境との調和のとれた良好な住環境を形成していくためには、安全で快適な道路の整備や交通環境の充実等の都市基盤の整備を進めていくことが大切です。

また、近い将来、発生が危惧される大規模地震や集中豪雨などの風水害による災害リスク、さらには、身近で発生し得る犯罪や交通事故など、わたしたちの安全・安心を脅かすリスクへの対策が必要です。

そのため、適切な土地利用の誘導、地域の特徴を活かしたまちづくりや駅周辺の拠点空間の整備、歩行者や自転車、自動車が安全で快適に通行できる幹線道路の整備、駅周辺への利便性の高い道路などの交通ネットワークの形成を推進していきます。

また、行政だけでなく、市民や市民活動団体、事業者等のさまざまな主体が一体となって「自助」、「共助」、「公助」の考えのもと、防災、防犯対策に取り組むことで、「安全で安心して快適に暮らせるまち」をめざします。

基本目標 6 産業・学び・文化芸術

活力と魅力あるまち

地域に根ざした産業振興を図るためには、市民や事業者がともに地域で産業を生み・育てていくとともに、持続可能な経営を支える仕組みづくりが大切です。

また、人々の交流やにぎわいにより地域全体を活性化するためには、いくつになっても学ぶことができ、身近なところで文化芸術などに触れ、気軽に体を動かすことができる環境づくりが必要です。

そのため、経営基盤の強化や起業・創業支援の充実、商店街の活性化の支援を図るとともに、地産地消や農地保全への取り組みを推進します。また、学習や学び直しをする機会の充実、文化芸術の振興、スポーツ・レクリエーション活動に気軽に取り組める環境づくりなど、一人ひとりが生きがいを持って暮らしを楽しめる、まちもひと元気になる「活力と魅力あるまち」をめざします。

基本理念

ともにみらいにつなぐ やさしさといこいの西東京

みんなで作るまち

基本目標 1 協働・行政



子どもが健やかに育つまち

基本目標 2 子ども・教育



笑顔で自分らしく暮らせるまち

基本目標 3 健康・福祉



環境にやさしい持続可能なまち

基本目標 4 みどり・環境



安全で安心して快適に暮らせるまち

基本目標 5 都市基盤・安全



活力と魅力あるまち

基本目標 6 産業・学び・文化芸術



基本目標実現のための体制づくり

分野横断的な連携+さまざまな主体との協働

基本目標実現のための体制づくり

社会経済情勢が変化し、行政需要が多様化・複雑化する中においては、分野ごとに掲げた基本目標を推進するための体制づくりが重要となります。課題や変化に柔軟に対応するために、庁内各部署が分野を超えて組織横断的な連携を図るとともに、地域の力を活かし、市民や市民活動団体、事業者等のさまざまな主体との協働により課題を解決していきます。